

群会議の話題

2021年
7月17日
484号

東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
電話042(3224)5940

部内資料

制度利用で 乗り越えよう コロナ危機

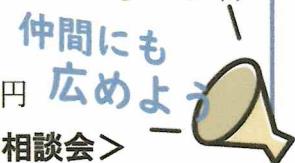
コロナ関連の給付金、土建国保料免除、貸付などまとめました。それぞれ申請期限があります。対象の有無含めまずは組合へ相談ください。コロナ危機を乗り越えよう。

①月次支援金 (一時支援金の第2弾のイメージ)

【対象】コロナの影響で収入が2019年、2020年と2021年4月、5月、6月の各月を比べて50%以上減少していること(すべて該当の場合は3回申請)

【給付額】法人上限20万円、個人上限10万円

<組合と一緒に「書類作り」と「データ入力」の相談会>



【個人の持ち物】帳簿(2019年1月~2021年6月の売上台帳、請求書、領収書)免許証、確定申告書控え2年分(2019、2020年)、通帳(2019年以降)、上位会社の住所・電話、スマートフォン(メールアドレス)。*法人は問合せを。

【とき】7/19(月)、20(火)、21(水)、27(火)、29(木)

【時間】午後5時~8時 【会場】支部事務所 *要予約

②東京土建国保料の免除

新型コロナウイルスの影響により生活が著しく困難になり次のいずれかの要件を満たす方は保険料が免除となります。

*今回の減免は、申請後の月にかかる保険料が対象になるため返金はありません。

【申請期間】2021年7月5日~同年11月12日(支部必着)

【対象保険料】2021年10月~2022年3月分(最大4カ月分)

【対象者】

①主たる生計維持者(世帯主)が死亡または重篤な傷病を負った組合員⇒保険料(4カ月分)を免除

②組合員の建設産業の収入が2019年または2020年と比べて30%以上減少することが見込まれる組合員

⇒保険料(2カ月~4カ月分)を免除

③他にも細かい規定があります。

まず相談

暑い7月。コロナ、熱中症は要注意

国分寺市長選善戦健闘も及ばず

7月4日投開票の国分寺市長選挙は、「現職と女性候補の一騎打ちとなりました。組合では、市民と野党議員の統一候補の立石しようさんを支部推薦しました。結果は、立石さん2万1019票、井沢さん2万7671票で善戦健闘しましたが及びませんでした(投票率47%)。

また同日行なわれた都議会議員選挙では、野党が前進しました。

「竹中」死亡事故やクラスター

現場実態では、竹中工務店が元請の三ヶ島駅構内工事現場で、6月21日に労災死亡事故(吊り荷の落下)が発生しました。被災者は組合員であることが判明しました。お悔やみを申し上げます。同現場2次の支部の仲間(内装)から「現場はストップしたが休業補償はない」と情報が寄せられました。さらに別の虎ノ門現場でも死亡事故があり、コロナ感染者も多数出ているとのこと。この情報は

本部を通じて竹中へ「現場改善・休業補償」を要請しました。

フードバンクで切実な相談も

支部も参加する小金井社会保障推進協議会(社保協)が「まちかど相談会&フードバンク」を6月19日、武藏小金井駅南口で開催しました。開始から列ができ、「収入が3割減った」「介護のパートを失い家賃が払えない」など60人が利用し切実な相談はすべて渡すことができ、参加者は「コロナで困窮する人への支援は、もつと国、都、がやるべきだ」と感想がありました。

6月の主な組合のとりくみ

①制度利用でコロナ危機を乗り越えよう(左)、②連続セミナー(インボイス、熱中症)に参加しよう、③補助金確保のハガキを書くぞ、④自然災害も補償対象の火災・地震共済を広めよう(裏面)、⑤新入学祝いの申請忘れずに。今年の夏も猛暑が予想されます。コロナと熱中症対策は気を付けて行ないましょう。



③生活資金緊急貸付

【対象】コロナの影響で収入が減少し、緊急かつ一時的な生活維持のため貸付を必要とする世帯【申請期限】8月末

④コロナ感染症特別貸付

事業者に対する日本政策金融公庫や商工中金の貸付です。事業計画など必要です。

